

# NEDO Pitch

## 第15回 “宇宙ベンチャー特集”

主催：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

共催：オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会

運営支援：有限責任監査法人トーマツ

開催日：2017年3月28日（火）

開催場所：NEDO Incubation Center (NIC)

ミュージア川崎 5F (NEDO 川崎本部)

プログラム：

18:00~18:10 開会、テーマ概観（最新の業界動向及びトピックの共有）

18:10~19:50 NEDOピッチ5件

ピッチご登壇者概要	
株式会社アクセルスペース	株式会社アクセルスペースは、GRUS という超小型衛星 50 機による新しい地球観測インフラ「AxelGlobe」の構築を目指すベンチャー企業。この AxelGlobe により、自動車の検出も可能な 2.5m の分解能で全世界を毎日撮影することができるようになる。第一弾としてまずは 3 機の GRUS 衛星を本 2017 年末に打ち上げ、サービスを開始する予定。取得画像の解析により得られるビジネスインテリジェンスを安価に提供し、精密農業・森林管理から都市計画・経済指標作成に至るまで、幅広い業界における衛星データのビジネス利用拡大を目指す。衛星の製造事業も行っており、設立以来株式会社ウェザーニューズ向けに 2 機の衛星を開発した（うち 1 機は打ち上げ済み）ほか、直近では宇宙航空研究開発機構（JAXA）から小型衛星の開発・運用を受託した実績を持つ。
株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ	株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズは、「手に届く、身近な宇宙」をコンセプトに、宇宙ステーションと同じ 1/1000G の低重力環境、および、2-3G の過重力環境を提供する重力制御装置「Gravite（グラビテ）」を開発している広島大学発ベンチャー。 重力環境を変えることができる本装置により、再生医療分野をはじめ様々な領域で全く新しい研究成果、未知の発見が期待されている。2016 年 5 月には、NASA・微小重力センターへも納品され、宇宙実験の予備実験や対照実験にも活用される予定。Nature にも掲載されるなどアカデミアでも注目されている。
株式会社 ALE	株式会社 ALE は、世界初の宇宙エンターテインメント企業。「科学とエンターテインメントの両立」を目的とし、その一つとして人工流れ星を開発中。夜空をキャンバスにみたくて人工流れ星で演出する「リアルエンターテインメント」を創出する人類初の挑戦、「SHOOTING STAR challenge」プロジェクト始動。人工衛星の打ち上げは 2018 年、実施は 2019 年を予定。2011 年に創業し、2016 年までにエンジェル投資家達から 7 億円調達した。

<p>株式会社インフォステラ</p>	<p>株式会社インフォステラは、小型人工衛星の通信インフラサービスの開発及び提供を通じて、“宇宙通信のAWS”を目指すベンチャー企業。</p> <p>人工衛星の需要増に伴い、人工衛星と地上局との間のデータ通信の需要も急増しており、多くの衛星運用会社では衛星と地上とを通信するアンテナの確保が大きな課題となっている。一方で、これまでの宇宙開発においては、打ち上げる人工衛星のために地上局のアンテナを各社が自社で設置してきた事例が多い。自社の人工衛星の運用に使うだけではアンテナの空き時間が長く、稼働率は低いままとなる。これらの状況に対し、既存の地上局のネットワークを作り、通信機会という資源を効率よく配分することで、低コストで顧客に供給する。</p>
<p>株式会社スペースシフト</p>	<p>株式会社スペースシフトは、レーダー衛星をはじめとした人工衛星のデータを人工知能を活用して解析し、地表のわずかな変化を正確に読み取る技術を開発しているベンチャー企業。</p> <p>キヤノン電子の開発する超小型衛星の利活用を推進するほか、2016年には超小型衛星キット「ARTSAT KIT」を開発するプロジェクトのクラウドファンディングに成功している。</p>

19:50~20:15 まとめ・閉会

20:15~ 名刺交換会